



## 「生徒集会について」

2月の集会は生徒会主体で行われました。内容、構成ともによく考えられており、その中の2つの発表について私の感想等を書きます。

まずは、「積極的なあいさつ」についての発表です。副会長のKさんと1年生Oさんが前に出て、インタビュー形式でOさんの「あいさつ」に対する考え方を紹介しました。Oさんは、あいさつがしっかりできることで有名であり、



- ・最初は、立ち止まらなくても相手に正対しきちんとあいさつすること
- ・次からは、最初ほど丁寧ではないが、相手に声が届くこと

の2点を意識していることを話してくれました。最後に副会長のKさんが、「私たちにも学ぶことはあると思います。」と締めくくりました。一人ひとりがそれを踏まえて、自分のあいさつを振り返ってみることが大切です。

次は、保健委員会の「SNSの利用」についての発表です。ネット上の危険性やトラブルについて、プレゼンを使い具体例を出しながら説明してくれました。

実はSNS（ネット）依存の怖さについては他にも指摘があります。それは、「読解力」（文章を読んでそこに書かれた意味を理解する力や、まとまりのある文章を書く力のこと）が身に付かないことです。



SNSでは、簡単な言葉を使うことが多くなります。また、ネットでは、情報が偏ってしまう傾向があると言われます。

今年の大学センター試験の国語の問題文を見ると、「思弁的」「両面価値的存在」「無謬の知識」など、普段あまり目にしない言葉が出てきます。また、社会に出てある程度の複雑な事柄を理解するには、それなりの知識や語彙が必要です。

十代は頭が柔軟で吸収力があり、幅広い知識や様々な語彙を覚えるのに最も適した時期といわれます。その意味でもSNSやネットと上手な付き合い方を考えてみる必要があると思います。

色んなことを考えさせてくれた集会であり、生徒会や各委員会の皆さん、本当にお疲れ様でした。